

ワンダーランド

伊藤貴晴 作

【登場人物】

疾走少女ハシル
泣虫少女ナキムシ
絶望少女ノゾミ
爛漫少女ランマ
文学少女アヤ
居眠少女ミンミン
靈感少女レイ
電波少女テンパ
幻想少女マボロシ
真剣少女マコト
鉄拳少女アイコ
魔法少女シヨウコ
嘘吐少年ウソツキ
只野少年タダノ
甲冑少年ヘラクレス
科学少年サイエンス
白兔
黒兎
先生

【1】

プール。

マボロシがいる。ウソツキ、登場。

マボロシ 来てくれたんだ

ウソツキ 約束したから

マボロシ したね、約束

ウソツキ したよ、約束

マボロシ 随分経ったね

ウソツキ 随分経ったよ

マボロシ どれぐらい経った？

ウソツキ 分かんない

マボロシ プールに月が映ってる

ウソツキ 月が綺麗だ

マボロシ 君も綺麗だって言って

ウソツキ え？

マボロシ ねえ、言ってよ

ウソツキ 君も綺麗だ

マボロシ 君の方がずっと綺麗だ

ウソツキ 君の方がずっと綺麗だ

マボロシ 君は世界で一番美しい

ウソツキ 君は世界で一番美しい

マボロシ 百年後にまた同じことを言って

ウソツキ 覚えてるかな

マボロシ 覚えてて

こんな夢を見た。満月の夜、小学校のプールに忍び込んだ。彼女が一緒にいた。彼女とプールの縁（へり）に座って、足だけ水の中に突っ込んだ。水面（みなも）が揺れた。水の音がした。ぱしゃん。ぱしゃ

ん。水面に映った月が滲（にじ）んだ。他愛ない話をした。彼女は笑った。とびきりの笑顔が月の光に照らされた。それから、彼女は水の中に消えた

マボロシはプールに飛び込む。

ウソツキ そのまま浮かんでこなかった

全員、登場。ダンスを踊る。

少年少女 月の夜 水面が揺れる

少年少女 校庭の少年少女

少年少女 僕等が幸せだった頃

少年少女 昔々の物語

少年少女 月の夜 兎が跳ねる

少年少女 ジャンブルジムの少年少女

少年少女 僕等が幸せだった頃

少年少女 昔々のワンダーランド

【2】

教室。

みんながいる。

ハシル

先生 こんな夢を見た。私は小学生で、走ってて、いつも走ってて、いつまでも走ってて、転んで怪我とかするんだけど、でもやっぱり走ってて、まだ何も知らなくて、どこまでも行けるような気がして、地球は丸くて、空は青くて、未来は続いてて、何にでもなれるような気がしてた みんなおはよう

みんな 先生おはようございます
 タダノ 先生、先生
 先生 何？ タダノ君
 タダノ おはようございますって変じゃない？
 先生 何が？
 ハシル そうだよ、だって夢だよ
 タダノ てことは寝てるんだよ
 ランマ 寝てるのにおはようございますですよ
 タダノ 変だよ
 ハシル 変だよね
 先生 みんな寝てるの？
 三人 寝てない。あれ？
 先生 変だね
 三人 変だ
 アヤ 先生、ミンミンが寝てます
 ウソツキ 夢の中で寝てるのもつ目覚めないらしいよ
 みんな えー
 ウソツキ 嘘だよ
 レイ 夢って寝てる時に見るものですよね？
 先生 でも起きてる時に見る夢もあるでしょ？
 レイ え？
 先生 将来の夢
 みんな あー
 先生 夢は見るものだし、叶えるものだよ。さあ、みんなの夢は何かな？
 ハシル はい
 ハシルさん ハシルさん
 ナキムシ どこまでも走っていくことです
 はい

先生 ナキムシさん
 ナキムシ 友達をたくさん作ることです
 ランマ はい
 先生 ランマさん
 ランマ 幸せになることです
 アヤ・ミンミン・レイ はい
 先生 アヤさん、ミンミンさん、マボロシさん
 アヤ 本をたくさん読むことです
 ミンミン お花屋さんになることです
 マボロシ お嫁さんになることです
 サイエンス・マボロシ・デンパ はい
 先生 サイエンス君、レイさん、デンパさん
 サイエンス 科学者になることです
 レイ 世界一周旅行に行くことです
 デンパ 宇宙に行くことです
 ウソツキ はい
 先生 ウソツキ君
 ウソツキ みんなが信じる嘘をつくことです
 タダノ はい
 先生 タダノ君
 タダノ 田んぼの土になることです
 ヘラクレス はい
 先生 ヘラクレス君
 ヘラクレス ヘラクレスオオカブトを捕まえることです
 マコト・アイコ・ショウコ はい
 先生 マコトさん、アイコさん、ショウコさん
 マコト 剣豪になることです
 アイコ アイドルになることです
 はい

シヨウゴ 魔法使いになることです

先生 ノゾミさん

ノゾミ はい

先生 ノゾミさんの夢は何？

ノゾミ 大人になる前に死ぬことです

みんな え？

ノゾミ 私は大人になんかなりたくありません

先生 でも、いつかはみんな大人になるよ

ノゾミ 嫌です

先生 どうして？

ノゾミ だって嫌だから

ハシル 私は早く大人になりたい

ノゾミ あんたの意見は聞いてない

先生 ほら、ケンカしないの。こっちを見て

先生は「夢」という字を掲げる。

先生 これは何と読みますか？

みんな 夢

先生 そうだね。じゃあ

先生は「夢」に人偏を付け足す。

先生 これは何と読みますか？

ウソツキ イー夢

先生 ウソツキ君、違います

アヤ はかない

先生 そつ。人の夢は儂いんです

マコト

先生

みんな

先生

みんな

先生

全員、退場。

はい
さあ、今日はお月見です。毎月十五日は満月です。十五夜は、みんな
で月を見に行こう

【3】

兎小屋。中に白兎・黒兎がいる。
ナキムシがいる。ランマ、登場。

ねえねえねえねえ

何？

何してるの？

別に何もしてない

それ何？

何でもないよ

給食のプリンだ

見ないでよ

どうしたの？ それ

私のプリン

ナキムシの？

うん

ちようだい

ダメだよ

ランマ どうして？
ナキムシ だって
ランマ 食べるの？
ナキムシ 私は食べないけど
ランマ 食べないんだっいたらちよっだい
ナキムシ ダメ
ランマ どうして？
ナキムシ どうしても
ランマ 変なの

ノゾミ、登場。

ノゾミ 何してるの？
ナキムシ え？ あ、ノゾミ
ノゾミ また兎に餌あげに来たんでしょ
ランマ そうなの？
ノゾミ 今日は何？
ランマ プリン
ノゾミ プリン？
ナキムシ うん
ノゾミ 兎はプリンなんか食べないでしょ
ナキムシ 食べるもん
ノゾミ そんな物食べさせたらお腹壊すよ
ナキムシ 壊さないもん

ハシル、登場。

ハシル
ランマ

ランマ ハシル、どうしたの？
ハシル 一緒に帰るって言ったじゃない
ランマ ごめん、忘れてた
ハシル もっ、いつもいつもそうなんだから
ランマ えへへ
ノゾミ うるさい
ハシル え？
ノゾミ あんた声大きいんだから、静かにしてよ
ハシル 何それ？ 普通でしょ
ノゾミ ところが？
ハシル ランマの方がよっぽどうるさいでしょ
ランマ 私、そんなにうるさくないよ
ハシル うるさいよ。ランマが喋っていると周りの音が聞こえないもん
ランマ ハシルだって大きい声で喋ってるじゃない
ノゾミ どっちもうるさいよ
ランマ うるさいな。大体、ノゾミはそこで何してるの？
ハシル あんたに関係ないでしょ
ハシル 何その言い方？
ノゾミ 早く帰りなよ
ハシル 言われなくても帰ります。あんたこそ早く帰ったら？
ノゾミ 心配しなくても帰ります。それじゃあね
ナキムシ あ、ねえ、ノゾミ
ハシル 兎が死んだらあんたのせいだからね

ノゾミ、退場。

ナキムシは泣き出す。

ハシル
腹立つ。ものすごく腹立つ

ランマ ノゾミって何考えてるかよく分かんないよね
 ハシル 奴はどうしてあんなに生意気なの？ どうしてあんなに高飛車なの？
 ランマ 高飛車ってなに？
 ハシル 高慢ちきってこと
 ランマ 分らない
 ハシル いいから帰ろう。ほら、泣かないで
 ランマ 兎に餌あげるんだって
 ハシル 餌？
 ランマ プリンあげるんだって
 ハシル 兎はプリンなんか食べないでしょ
 ナキムシ 食べるよ
 ハシル 食べないよ
 ナキムシ 食べるよ。私いつも給食の残り、兎にあげてるもん
 ランマ 給食残しちゃダメでしょ
 ナキムシ 兎が欲しいって言うんだもん
 ハシル 兎がそんなこと言うわけないでしょ
 ナキムシ 言ったんだもん。ね？
 白兎 うん、言った
 黒兎 言ったよ
 ハシル え？
 ランマ ん？
 白兎 どうかした？
 ハシル え？ だって
 ナキムシ 兎は喋るんだよ
 白兎 別にいつでもべらべら喋ってるわけじゃないけど
 黒兎 かと言って喋らないわけでもなかったりなんかして
 ハシル 兎が喋った
 ランマ すごい

白兎 驚いた
 黒兎 驚きました
 白兎 はあどっこい
 黒兎 はあどっこい
 ハシル どうなってるの？ 兎って喋るの？
 ランマ 知らないよ、私
 白兎 ねえねえ
 ハシル 何？
 白兎 お腹空いた
 黒兎 お腹空いちやった
 白兎 何か頂戴
 ナキムシ はい、プリン
 白兎 やった。プリン
 黒兎 他には？
 ナキムシ ベーコン
 黒兎 ベーコンいただきました
 ハシル 兎って、お肉食べるの？
 ナキムシ 食べるよ
 黒兎 私、肉食なのでごめいます
 ハシル 兎なのに？
 黒兎 黒いからね
 ランマ ああ、黒いから
 ハシル それ関係ないよね
 ナキムシ この子はお肉食べないよ
 白兎 私、ベジタリアンだから
 ハシル それ普通だよ
 ナキムシ はい、パン
 白兎 やった、パン

ハシル どうなってるの？ これ

ナキムシ 兎は喋るよ

ハシル ありえないよ

ランマ すごいね

白兎 ねえ

ナキムシ 何？

白兎 出して

ナキムシ え？

黒兎 遊ぼうよ

ハシル ダメだよ。先生に怒られるよ

ランマ そうだよ

ナキムシ 遊んでくれるの？

白兎 開けて

黒兎 出して

ストップモーション。

ハシル

こんな夢を見た。兎が喋った。夢だけど、こんな絶対ありえない。

何なのこれ。何この夢。夢だけど、夢なんだけど、夢なのに、この夢、

何？ 月の夜、校庭の隅。見たことのない夢を見て、あの子は、兎小

屋の扉を開けた

ナキムシは兎小屋の扉を開ける。

白兎・黒兎が兎小屋から出てくる。

白兎 やっほい

黒兎 やっほい

白兎 はあどっこい

黒兎 はあどっこい

白兎 さあ行こう

黒兎 ほら行っちゃおう

ナキムシ どこに行くの？

白兎 どこに行く？

黒兎 それはやっぱり

白兎 不思議の国？

黒兎 ワンダーランド？

白兎 さあ逃げる

黒兎 につげろー

白兎・黒兎、退場。

ハシル 逃げた

ナキムシ 兎が逃げた

ランマ あー、先生に怒られる

ナキムシは泣き出す。

ハシル あーもう、泣かないでよ

ランマ 泣かした

ハシル 泣かしたのはランマでしょ

ナキムシ 兎が逃げた

ランマ 捕まえればいいじゃない

ナキムシ え？

ハシル そうだよ。捕まえに行こう

ナキムシ うん

ランマ よし、行こう

ハシル
急いで
ナキムシ
ちよつと待ってよ

ナキムシ・ランマ・ハシル、退場。

【4】

ノゾミがいる。アヤ、登場。

アヤ
ノゾミ、何してるの？

アヤ
何も。アヤは？

アヤ
本読んでるの

ノゾミ
何の本？

アヤ
夏目漱石の『夢十夜』

ノゾミ
ふーん

アヤ
「こんな夢を見た。腕組みをして枕元にすわっていると、あお向きに
寝た女が、静かな声で」

二人
「もう死にます」

アヤ
「と言う。女は長い髪を枕に敷いて、輪郭の柔らかかなつりざね顔をそ
の中に横たえている。真っ白なほおの底に温かい血の色がほどよくさ
して、唇の色はむろん赤い。とつてい死にそうには見えない。しかし
女は静かな声で、」

二人
「もう死にます」

アヤ
「とはつきり言った。自分も確かにこれは死ぬなと思った。そこで、
そうかね、もう死ぬのかね、と上からのぞき込むようにして聞いてみ
た。」

二人
「死にますとも、」

アヤ
「と言いながら、女はぱちりと目を開けた。大きな潤いのある目で、
長いまつげに包まれた中は、ただ一面に真っ黒であった。その真っ黒

なひとみの奥に、自分の姿が鮮やかに浮かんでいる。」

アヤはノゾミの目を覗き込む。

アヤ
「死ぬんじゃなからうね、大丈夫だろうね」

ノゾミ
「でも、死ぬんですもの、仕方がないわ」

アヤ
「じゃ、わたしの顔が見えるかい」

ノゾミ
「見えるかいつて、そら、そこに、写ってるじゃありませんか」

二人は笑う。

ノゾミ
百年、待っててくれる？

アヤ
百年、待っててあげる

ノゾミ
本当に？

アヤ
うん、本当

ノゾミ
ありがとつ。じゃあ行ってくる

アヤ
どこに行くの？

ノゾミ
兎を捕まえに

アヤ
行ってらっしやい

ノゾミ・アヤ、退場。

【5】

白兎・黒兎が逃げる。

マコト・アイコ・シヨウコ・ヘラクレスが追いかける。

ヘラクレス
兎が逃げたぞ

マコト
待て

アイコ 待てーら
ショウコ 待ちなさい

四人は白兎・黒兎を追い詰める。

アイコ もう逃げられないぞ
白兎 はあどっこい
黒兎 はあどっこい

白兎・黒兎は走り去る。

ショウコ 逃げた
ヘラクレス 逃がすな。追え

四人は走り去る。

白兎・黒兎は川に飛び込む。

続いてハシル・ナキムシ・ランマ・ノゾミが川に飛び込む。

ハシル 私達は泳いでいた
ナキムシ 大きな川を泳いでいた
ランマ 学校の近くを流れる大きな川
ノゾミ 私達は泳いでいた
ハシル どうして泳いでるの？
ナキムシ 兎が逃げて、追いかけてるんだよ
ランマ どうして泳がなきゃいけないの？
ノゾミ 兎が逃げるからだよ
ハシル あれ？ 何でノゾミがいるの？
ノゾミ いたらいけないの？

ハシル そんなことないけど

他のみんなも川に飛び込む。

レイ 大丈夫？ これ
マボロシ 全然進まない
アヤ 流れに逆らって進むわけないよね
ミンミン 流されたら海まで行っちゃうよ
デンパ やっほー
ヘラクレス 気合いだ。気合いで進め
タダノ 任せろ
ハシル 何か人が増えてる
サイエンス うわあ

サイエンスは岩にぶつかって退場。

ヘラクレス どうした？
タダノ サイエンスが岩にぶかった
ナキムシ え？
レイ サイエンス君
ヘラクレス サイエンスがリタイヤか
タダノ 岩に気を付けろ
ハシル そんなこと言われたって
ランマ どうしたらいいの？
ノゾミ とにかく泳ぐの
ナキムシ 兎はどこに行ったんだろうね？
ハシル そんなこと言ってる場合じゃないでしょ
マコト 何？ あれ

アイコ どれ？
マコト ほら、あれ
シヨウコ 人かな？
アイコ 人じゃない
マコト 河童だ
みんな 河童？
ランマ 河童だ
ハシル 河童の川流れた
みんな 河童の川流れた
ハシル でもちよつと待つて
ナキムシ すごい水の量
ランマ 波が来るよ
ハシル 鉄砲水だ
みんな 鉄砲水だ

みんなは流されて退場。
ナキムシが倒れている。河童（ウソツキ）、登場。

河童 ねえ、ねえ

ナキムシは起き上がる。

ナキムシ うわあ
河童 うわあ
ナキムシ え？
河童 ねえ、ねえ
ナキムシ 何？
河童 尻子玉ちようだい

ナキムシ え？
河童 尻子玉
ナキムシ え？ 尻子玉？
河童 そう、尻子玉
ナキムシ あなた、河童？
河童 そうだよ。君、大丈夫？
ナキムシ うん。みんなは？
河童 流されたよ
ナキムシ え？
河童 すごい水だったから
ナキムシ そんな

ナキムシは泣き出す。

河童 泣くなよ。なあ。俺の尻子玉あげるからさ

白兔・黒兔、登場。

白兔 はあ、どっこい
黒兔 はあ、どっこい
白兔 ひどい目に遭った
黒兔 あーもうびしょびしょ
河童 何？ お前等
白兔 兎？
黒兔 兎？
河童 あんた何？
白兔 河童？
河童 河童？

黒兎 河童って何？

河童 河童は河童だよ

白兎 え？ おかしいよ、河童って

黒兎 河童って本当にいるの？

河童 いるよ

白兎 いないよ、河童なんて

黒兎 いないよね

河童 勝手なこと言っな

白兎 何、河童って

黒兎 緑色だし、ちよつと臭いし

河童 臭いのはお互い様だろ

白兎 気持ち悪い

河童 そもそも兎が喋ってんじゃねえよ

白兎 いいでしょ、喋ったって

黒兎 かわいいでしょ

河童 かわいくねえよ。黙ってる小動物

白兎 かつちーん

黒兎 ムカつく

白兎 差別された

黒兎 動物愛護団体に訴えてやる

白兎 何よ河童のくせに

黒兎 クソミドリ

河童 何だと？

ナキムシ ケンカはやめて

河童は白兎にきゆうりを渡す。

河童 やるよ、きゆうり

白兎 やった、きゆうり

河童 そのきゆうり食べると、体が緑色になるんだ

白兎はきゆうりを吐き出す。

河童 嘘だよ

白兎 何だてめえ

河童 やんのかコラ

黒兎 はっけよい、のこった

ナキムシ ケンカはやめてよ

ナキムシは泣きました。

河童 だから泣くなよ、おい

ナキムシ みんななくなっちゃった。みんなどこに行ったの？

ヘラクレス・マコト・アイコ・ショウコ、登場。

ヘラクレス 見つけたぞ

ナキムシ みんな

白兎 まずい

黒兎 見つかった

アイコ ぶん殴ってやる

マコト 叩き切ってやる

ショウコ 丸焼きにしてやる

ヘラクレス バーベキューだ

白兎 食われる

黒兎 食われる

白兔・黒兎は逃げる。

四人
待てー

ヘラクレス・マコト・アイコ・シヨウコ、退場。

ナキムシ
ちよつと待って、食べちゃダメだよ。ねえ、待ってよ

ナキムシ、退場。河童もみんなを追って退場。

【6】

ジャングルジム。

レイがいる。

レイ
こんな夢を見た。私は小学生で、ちよつと変わってて、自分ではそん

なつもりはないんだけど、やっぱりちよつと変わってて、どんな風に変わってるかって言うと、みんなには見えないものが見えて、別には気にしないんだけど、でもやっぱりちよつと気になって、別に私には見えなくなるかもしれないから、早く大人になりたいくて、でも大人にはなりたくなくて、地球は丸くて、空は青くて、未来は続いてて、何にでもなれるような気がしてた

デンパ、登場。ジャングルジムに登る。

レイ
何してるの？

デンパ

レイ
危ないよ

デンパ
……

ねえ、デンパ

デンパ
あ、来た

レイ
何が？

デンパ
通信

レイ
通信？

デンパ
通信してるの

レイ
誰と？

デンパ
宇宙人

レイ
宇宙人っているの？

デンパ
いるよ

レイ
ふーん

デンパ
ねえレイ

レイ
何？

デンパ
レイって靈感あるんでしょ？

レイ
うん、多分

デンパ
何ができるの？

レイ
お化けが見えるの

デンパ
お化け？

レイ
そう、お化け

デンパ
お化けって怖い？

レイ
怖くないよ

デンパ
ねえ、レイ

レイ
何？ デンパ

デンパ
私、本当は宇宙人なの

レイ
え？

デンパ
内緒ね

レイ
うん

デンパ 私、月へ帰らなきゃいけないの月？

レイ でもどうやって帰ったらいいか分からない

レイ 月から来たんだ

デンパ サイエンスにロケット作ってもらえばいいかな

レイ そうだね

デンパ 帰りたいな

レイ 帰りたいの？

デンパ 帰りたいくない

レイ どっち？

デンパ 分かんない。ハロー、ナマステ、こちら地球。宇宙人、応答せよ

レイ 宇宙人って言葉は通じるの？

デンパ 通じるんじゃない？

レイ 帰れるといいね

デンパ そうだね

【ア】

ミンミンがツチノコ（タダノ）の上で眠っている。
ハシル、登場。

ハシル ミンミン

ツチノコ 助けてくれ

ハシル え？ 何これ？

ツチノコ 助けてくれ

ハシル ミンミン。起きて、ミンミン

ミンミン むにゃむにゃ、もう食べられない

ハシル 寝ほけるな

ツチノコ 早くこいつをどけてくれ

ハシル もう、仕方ないな

ハシルはミンミンをどける。

ツチノコ ありがとう。助かったよ。この子に捕まって困ってたんだ

ミンミンは目を覚ます。

ミンミン あれ？ ごはんは？

ハシル やっと起きた

ミンミン ハシル、何してるの？

ハシル それはこっちのセリフ

ミンミン あ、ツチノコ

ハシル ツチノコ？

ツチノコ そう。土の子供。ツチノコ

ハシル え？ ツチノコってそういうのだったけ？

ツチノコ そうだよ。鱈の子供はタラコ。蜂の子供は蜂の子。貝の子供は蚕

ハシル 違うよ

ランマ、登場。

ランマ 大変大変

ハシル ランマ、どうしたの？

ランマ ヘラクレスが暴走してる

ハシル ヘラクレスが？

ランマ 兎を追いかけて行ったんだけど、いつの間にかいなくなっちゃった

ハシル どこに行ったの？

ランマ カプト山

ハシル 私達も行くら
ランマ あれ？ こいつ何？
ミンミン ツチノコだよ
ランマ ツチノコ？ かわいい
サイエンス、登場。

サイエンス みんな。大変だ
ハシル サイエンス。どうしたの？

サイエンス あれ？ こいつ何？

ミンミン ツチノコだよ

サイエンス ツチノコ？ UMA？

ミンミン ユーマって何？

サイエンス Identified Mysterious Animal。そんなことはどうでもいい。大変だ。ヘラクレスがカブトムシになった

みんな え？

サイエンス あいつはヘラクレスオオカブトを捕まえるのが夢だった。だから自分がカブトムシになってしまったんだ

みんな ええー

アヤ・レイ・マボロシ、登場。

アヤ ミイラ取りがミイラになるっていう奴ね

レイ ヘラクレスの心の闇が、彼をカブトムシにしてしまった

マボロシ 怒りで我を忘れてるの。助けなきゃ

ノゾミ、登場。

ノゾミ みんな、大変だよ

ハシル ノゾミ、これ以上大変なことがあるの？
ノゾミ 兎がヘラクレスに捕まった
みんな え？

ノゾミ 助けよう

ハシル 何であんたがそんなこと言っの？

ノゾミ 友達だから

ハシル 友達

ノゾミ 行くよ

ハシル 別にあんたのために行くわけじゃないからね

ランマ ハシル、素直になったら？

ハシル 私は素直です

ノゾミ ところで、こいつ何？

ミンミン ツチノコ

ノゾミ こいつを囚にしよう

ツチノコ ちょっと待て。俺は行かないって。何でだよ、ねえ

全員、ツチノコを連れて退場。

【8】

カブト山。白兎・黒兎が捕まっている。

マコト・アイコ・シヨウコがヘラクレスと戦っている。

デンパが実況をしている。

ヘラクレスが咆哮する。

デンパ ヘラクレスが現れた。戦いますか？

マコト・アイコ・シヨウコ 戦う

ヘラクレス 愚かな。地獄を味わえ

デンパ マコトの攻撃。ヘラクレスには効かなかった。アイコの攻撃。ヘラク

レスには効かなかった。シヨウコの攻撃。ヘラクレスには効かなかった

ヘラクレス どうした。貴様等の力はそんなものか

デンパ ヘラクレスの攻撃。マコトに75のダメージ。アイコに83のダメージ。シヨウコに99のダメージ

ナキムシ、登場。

ナキムシ みんな、大丈夫？

マコト ナキムシ

アイコ 逃げて、ナキムシ

シヨウコ 奴は危険すぎる

ナキムシ でも、兎を助けなきゃ

白兎 助けて

黒兎 助けて

ナキムシ ヘラクレスを正気に戻さないと

マコト そのために頑張ってるんだけど

アイコ どれだけ攻撃しても

シヨウコ 攻撃が効かないの

マコト・アイコ・シヨウコがヘラクレスに攻撃。

デンパ 三人の攻撃。しかしヘラクレスには効かなかった

ヘラクレス 非力な

デンパ ヘラクレスの攻撃。三人は吹き飛ばされた

ナキムシ マコト、アイコ、シヨウコ

ヘラクレス 何だ、貴様は

ナキムシ え？

ヘラクレス 貴様も地獄に送ってやろう

みんな ナキムシ

ナキムシ 誰か助けて

河童、登場。

河童は甲羅を盾にしてヘラクレスの攻撃を受け止める。

河童 少女は助けを呼んだ。なんと河童が現れた

ヘラクレス 何だ、貴様は

河童 通りすがりの河童です

ヘラクレス こしやくな

河童 いざ

ヘラクレスと河童が戦う。

河童 皿カッター

河童は皿を投げる。

ヘラクレス ぬおお

ナキムシ 攻撃が効いた

マコト 今の攻撃で奴の鎧に傷が入った

アイコ もう少しであの鎧を壊せる

シヨウコ 河童さん、今の攻撃をもう一回

河童 もう皿がない

シヨウコ 役立たず

河童 無茶言っつなよ

ナキムシ どうしよう

ツチノコ・他のみんな、登場。

ツチノコ 俺に任せろ

マコト 誰？

ミンミン ツチノコだよ

みんな ツチノコ？

ツチノコ みんな、力を貸してくれ

みんなはツチノコに力を送る。

ヘラクレス 淡い期待は絶望を大きくするだけだ

ツチノコ 行くぞ。フライングツチノコアタック

ツチノコがヘラクレスに突撃。

ヘラクレスはダメージを受ける。

ツチノコ 今だ

マコト 精神一到何事が成らざらん。鉄をも切り裂く斬鉄剣。せいや

ヘラクレス ぐはっ

アイコ この拳に全身全霊を込めて。鉄拳、中段正拳突き。せいや

ヘラクレス ぐはっ

ショウコ 精霊たちの力を借りて、天の光が貴様を討つ。いかずち

ヘラクレス うおー

ナキムシ やった

アイコ これでどつだ

ヘラクレス おのれ、よくも俺を怒らせたな。許さんぞ

ヘラクレスは咆哮する。

ツチノコ・河童はヘラクレスに吹き飛ばされて退場。
みんなはヘラクレスに倒されていく。

ナキムシ やめて

ヘラクレス 強きこそすべてだ。弱い者は滅びるんだ

ナキムシ やめて

ナキムシだけが残る。

ヘラクレス 貴様で最後か

ナキムシ もうやめて

ヘラクレス 弱い自分を呪うがいい。さらばだ

ヘラクレスがナキムシに攻撃する。白兎・黒兎がナキムシをかばう。

白兎・黒兎は倒れる。

ナキムシ 兎さん、兎さん。うわあー

ナキムシは泣く。辺りは光に包まれる。

みんなは起き上がる。

先生、登場。

ヘラクレス 俺は一体

先生 正気に戻ったんだね

ヘラクレス 先生。何があっただんですか？

先生 あなたはナキムシさんに救われたの

ヘラクレス ナキムシに？

先生 あなたはカブトムシに心を奪われ、身も心もカブトムシになっていた

の。でも、彼女の涙があなたの呪いを解いてくれたんだよ

ヘラクレス ナキムシの涙が

ナキムシ でも、兎さんが、死んじゃった

白兎・黒兎は起き上がる。

白兎 うっそぴょん

黒兎 死んだ振りでした

みんな え？

黒兎 ぴょんって言うつと兎っぼいね

白兎 そつでしよ。さあ、逃げるぴょん

黒兎 まだまだ逃げるぴょん

白兎 はあどっこい

黒兎 はあどっこい

白兎・黒兎、退場。

みんな 待てー

みんな、退場。ハシル・ナキムシ・ノゾミ・ランマは残る。

ナキムシは泣く。

ハシル どうして泣くの？

ナキムシ 良かった。兎さん死んでなかった

ランマ 騙された。何あの兎

ハシル ちよつとムカつく

ノゾミ 懲らしめてやろつよ

ランマ いいね

ナキムシ ダメだよ、かわいそうだよ

ノゾミ 殺したって死なないでしょ

ナキムシ それはそうだけど

ハシル 友達じゃなかったの？

ランマ 友達だよ。さ、行こう

レツツゴー

どうしてノゾミが先に行くの

ナキムシ ちよつと待ってよ

ハシル・ナキムシ・ノゾミ・ランマ、退場。

【9】

プール。

マボロシがいる。ウソツキ、登場。

マボロシ 来てくれたんだ

ウソツキ 約束したから

マボロシ したね、約束

ウソツキ したよ、約束

マボロシ 随分経ったね

ウソツキ 随分経ったよ

マボロシ もう百年経った？

ウソツキ 分かんない

マボロシ プールに月が映ってる

ウソツキ 手が届きそうだ

マボロシ ダメだよ。プールに落ちちゃうよ

ウソツキ 大丈夫だって

マボロシ 落ちても知らないよ
ウソツキ 落ちないよ。あ

ウソツキはプールに落ちる。

マボロシ こんな夢を見た。満月の夜、小学校のプールに忍び込んだ。彼と一緒にいた。彼は水面に映った月を掴もうとしてプールに落ちた。彼は嘘吐きだ。落ちないって言ったのに。彼は水の中に消えた。そのまま浮かんでこなかった

【10】

白兔・黒兔が走って通り過ぎる。
タダノ、登場。

タダノ こんな夢を見た。俺は小学生で、バカなことばかりして、笑って泣いて、叱られる。ただの小学生だった。いつも自転車に乗った。どこにでも自転車で行った。地面が続く限り、どこまでも行けると思っていた

みんな、自転車に乗って登場。

ハシル どうして自転車に乗ってるの？
ナキムシ 兎が逃げて、追いかけてるんだよ
ランマ まだ捕まえてないの？
ノゾミ だって逃げるんだもん
ナキムシ 全然追いつけないよ
ウソツキ 兎のトッパス。スピードは時速二百キロ
ナキムシ そんなに早いのか？

ウソツキ 嘘だよ
ナキムシ 嘘吐き

ヘラクレス 絶対に追いつくぞ

タダノ みんなで自転車に乗った。楽しかった。正直、俺は兎なんかどうでもよくて、とにかくみんなが自転車に乗ってることが楽しかった

ヘラクレス 敵はこのカブト山のどこかにいる

ハシル ここ、カブト山なんだ

ヘラクレス アップダウンが激しいが、最後まで全力で漕ぎ続ける

タダノ 了解

ウソツキ 疲れたら電動アシストモードに切り替えな

ナキムシ そんなのあるの？

ウソツキ ないよ

ナキムシ 嘘吐き

ヘラクレス 敵は二体だ。惑わされるなよ。二兎を追う者一兎も得ず。一体ずつ捕

獲するんだ

みんな 了解

みんな、退場。

ヘラクレス・ノゾミ、登場。

ノゾミ 先に行くよ

ヘラクレス ノゾミか。やるな

ノゾミ 自転車好きだから

ヘラクレス 弱っちい体で無理するなよ

ノゾミ 兎は私が絶対捕まえる

ヘラクレス・ノゾミ、退場。

黒兔・ナキムシ・ランマ、登場。

ランマ 待て

黒兎 待たないよ

ナキムシ 全然追いつけない

サイエンス・デンパ、登場。

サイエンス 俺達に任せろ

ナキムシ サイエンス、デンパ

ランマ それ、何に乗ってるの？

サイエンス 電動アシスト付きスケートボード

ランマ ずるい、私も乗りたい

サイエンス いいよ

ナキムシ・ランマはスケートボードに乗り換える。

ランマ 速い

ナキムシ 速すぎる

サイエンス 前傾姿勢でもっと速く

ランマ これなら追いつけるよ

黒兎 どうでもいいけど、前向いたら？

ナキムシ え？

四人 崖だ

ランマ ブレーキは？

サイエンス ない

ナキムシ そんな

ナキムシ・ランマ・サイエンス・デンパは崖から落ちて退場。

白兎・ノゾミ・ウソツキ・タダノ・ヘラクレス、登場。

ヘラクレス 待て

白兎 怖い

ノゾミ 何か怖がってるよ

ヘラクレス 知るかよ。とにかく捕まえればいいんだろ。行くぞ。ヒルクライム、

ダンシング、ダウンヒル、ヘアピンカーブ

白兎 嫌だ、怖い

白兎 退場。

ヘラクレス (ノゾミに) 何、笑ってるんだよ

ノゾミ 楽しい

ヘラクレス そうか

ノゾミ このまま時間が止まればいい

時間が止まる。

ノゾミ え？

アヤ、登場。

ウソツキ・タダノ・ヘラクレスはいなくなる。

アヤ ノゾミ

アヤ ノゾミ

アヤ どうして時間止めちゃったの？

アヤ え？ 私がやったの？
そっだよ。時間が止まればいいって言ったでしょ

ノゾミ 言ったけど

アヤ どうして止まっちゃったの？

ノゾミ どうしてって

アヤ 待ってるって言ったのに

ノゾミ うん

アヤ 私、待ってるって言ったのに、ノゾミは来てくれないんだね

ノゾミ ごめん

アヤ 「二つ二つと勘定してゆくうちに、赤い日をいくつつ見たかわからない。」

ノゾミ ごめんなさい

アヤ 「勘定しても、勘定しても、しつくせないほど赤い日が頭の上を通り

越していった。それでも百年がまだ来ない。」

ノゾミ ごめんなさい

アヤ 百年がまだ来ない。百年がまだ来ない。百年がまだ来ない

アヤ、退場。

ナキムシ・ランマ、登場。

ナキムシ

泣かないで

ノゾミ 泣いてない

ランマ 泣いてるでしょ

ノゾミ 泣いてないよ

ランマ ノゾミも泣虫

ノゾミ 泣いてないってば

ハシル、登場。

ハシル

勝手に時間止めないでよ

ハシル 私の勝手でしょ

ノゾミ

ハシル

ノゾミ こっちが迷惑するの

ハシル そんなの知らない

ノゾミ 私は先に進みたいんだから

ハシル 私はこのままでいい

ノゾミ そんなの嫌

ハシル 未来なんかいららない

ノゾミのバカ。五寸釘刺さって呪われちゃえ

ハシル、退場。

ノゾミ 大人になんかなりたくない

ランマ いつから大人なの？

ノゾミ え？

ランマ いつから大人になるの？ 中学生？

ナキムシ 中学生はまだ子供でしょ

ランマ じゃあ高校生？

ナキムシ まあ、そうかな

ランマ 早くなりたいね、高校生

ノゾミ そうだね

高校生はなってみたいかも

【11】

ハシル、登場。

ハシル

目が覚めた。私はスポーツに目覚めた。卓球をすることにした。卓球

は、ボールを打つと返ってくる。相手のボールが飛んでくる。私のボ

ールが返ってくる。それを必死にはね返す。スピードを上げて、回転

数を上げて、必死に前に進むうとする。でも、本当は未来が怖い。そ

んな思いも必死にはね返す

ヘラクレス、登場。

ハシル ねえ、ヘラクレス

ヘラクレス 何？

ハシル 卓球しよう

ヘラクレス いいよ

ラリーをする。

ハシル ねえ

ヘラクレス ん？

ハシル もし

ヘラクレス うん

ハシル 私が

ヘラクレス うん

ハシル 死んだら

ヘラクレス ん？

ハシル どうなるの？

ラリーが止まる。

ヘラクレス 言ってる意味がよく分からないんだけど

ハシル だから、人は死んだらどうなるかって話

ラリーが始まる。

ヘラクレス 天国とか、地獄とか、そういうのは、ないだろ

ハシル ないの？

ヘラクレス ないよ

ラリーが止まる。

ハシル ないんだ

ヘラクレス どうした？

ハシル じゃあ死んだらどこに行くんだろうね？

ヘラクレス どこにも行かないんじゃないの？

ラリーが始まる。

ハシル じゃあさ、ヘラクレスは、どんな、風に、死にたい？

ヘラクレス 俺？

ハシル そう

ヘラクレス 俺は、誰かの、役に、立って、死にたい

ラリーが止まる。

ハシル どういうこと？

ヘラクレス 警察官になって、誰かをかばって犯人に刺されるとか、消防士になっ

て、火事で誰かを助けて死ぬとか

ハシル 偉いね

ヘラクレス そういうのって格好良いだろ

ハシル 格好良い

ヘラクレス 俺は格好良く死にたい

ハシル ふーん

ヘラクレス ハシルは？

ラリーが始まる。

ハシル 私は、誰にも、迷惑を、かけずに、死にたい

ヘラクレス うん

ハシル 私が、死んだ、っていう、ことも、私が、生きてた、っていう、こ

も、誰も、覚えて、なくて、いいように、私が、生きてた、痕跡は、

全部、消して、全部、なかった、ことに、したい

ラリーが止まる。

ヘラクレス でも俺は覚えてたい

ハシル え？

ヘラクレス 大事な人のことは覚えてたい

ハシル そうだね

みんな、登場。

ラリーが始まる。リズムを刻む。

少年少女 いつか、僕等は、大人に、なる

少年少女 いつか、僕等は、人生を、終える

少年少女 いつか、僕等は、夢を、叶える

少年少女 いつか、僕等は、夢から、覚める

ハシル、退場。

ヘラクレス ハシル、ハシル

ヘラクレス、退場。

【12】

みんな、登場。

ウソツキ 先生、先生

タダノ 先生

先生 何？ みんなどうしたの？

レイ 先生、かくれんぼだよ

先生 かくれんぼ？

ナキムシ ハシルがどっか行っちゃった

ランマ ヘラクレスが追いかけて行ったよ

先生 どうして？

ナキムシ 分かんない

ノゾミ 先生、兎もないよ

先生 そうだね

ウソツキ こういうの、神隠しって言うんだよ

タダノ 神隠しって何？

ウソツキ お化けの国に連れて行かれるんだ

タダノ 嘘つけ

ウソツキ 嘘だよ

レイ 本当だよ

ウソツキ え？

レイ お化けの国に行くと帰れなくなるよ

先生 それがかくれんぼってこと？

レイ そう。先生、捜しに行こう

先生 分かった

みんな、退場。

アヤ・ミンミン、登場。ミンミンは寝る。

レイ・先生、登場。

先生
アヤさん、ミンミンさん

アヤ
こんにちは

レイ
お化けの国はどっち？

アヤ
ミンミンが知ってるはずなんですけど
寝てるよ

レイ
全然起きないの

レイ
ミンミン、起きて

アヤとレイはミンミンを起こそうとする。

レイ
起きないね

先生
私に任せて。ミンミンさん、起きて。起きないとこの前のテストで0

ミンミン
点だった答案を持って家庭訪問に行くからね

先生
あっちです

アヤ
ありがとう

先生
何？

アヤ
お化けの国に行くとは帰れなくなるんですよ？

先生
大丈夫。ちゃんと帰って来るよ

アヤ
みんなと帰って来てください

先生
任せて。さ、行こう

先生
全員、退場。

デンパ・サイエンス、登場。

デンパ
サイエンス

デンパ
デンパ。何？

サイエンス
私、月に帰らなきゃいけないの

デンパ
え？

サイエンス
だからお別れ

デンパ
ちょっと待って。急に何言ってるの？

サイエンス
これは前から決まっていたことだから

デンパ
その前に、月に帰るって何？

サイエンス
言っただけだったわけ？ 私、宇宙人なんだよ

デンパ
は？

サイエンス
で、サイエンスにお願いがあるんだけど

デンパ
待って待って待って。宇宙人？

サイエンス
私、月で生まれたから

デンパ
初耳

サイエンス
で、お願い。ロケット作って

デンパ
え？

サイエンス
月まで行くからロケット作って

デンパ
そんな簡単に言うなよ

サイエンス
できないよ

デンパ
小学生がロケットなんか作れるわけないだろ

サイエンス
じゃあもう頼まないよ

デンパ
あ、おい

サイエンス

デンパ・サイエンス、退場。

マボロシ・レイ・ウツキ・先生、登場。

マボロシ 来てくれたんだ
ウソツキ え？
先生 マボロシさん？
マボロシ 先生、久しぶり
ウソツキ お前、誰？
マボロシ 忘れちゃったの？
先生 どうしてマボロシさんがここにいるの？
マボロシ どうしてって？
ウソツキ マボロシがここにいるわけないだろ
マボロシ でもいるんだもん
ウソツキ マボロシはいなくなっただはずなのに
マボロシ でもいるんだもん
レイ 先生、この子、お化けだよ
ウソツキ どうか行けよ。もう顔見せるなよ
マボロシ どうしてそんなひどいこと言っの？
ウソツキ もう会わないって決めたから
マボロシ ねえウソツキ
ウソツキ 何？
マボロシ また会えるかな？
ウソツキ もう会わないって言ったろ
マボロシ ねえウソツキ
ウソツキ 何だよ
マボロシ また会えるよね
ウソツキ 人の話聞けよ
マボロシ 約束して
ウソツキ 約束なんかしない
ウソツキ、退場。

マボロシ 先生
先生 何？
マボロシ ハシルを捜してるんでしょ？
先生 うん
マボロシ 見つけてあげて
先生 ごめんなさい。あなたを見つけてあげられなくて
マボロシ それはもういいの。私はもう戻れないから
レイ マボロシ、久しぶり
マボロシ レイ、ごめんね。先にいなくなって
レイ ううん、また会えて嬉しい
マボロシ ハシルを助けてあげて
レイ 分かった。先生、行こう
先生 うん
全員、退場。
ハシル、登場。ジャングルジムの中にいる。
マコト・ヘラクレス、ジャングルジムの前に登場。
ハシルの周りには壁がある。マコトとヘラクレスは壁を壊そうとする
が壊れない。
レイ・先生、登場。
先生 マコトさん、ヘラクレス君
ヘラクレス 先生
レイ ハシルは？
マコト この中に
ヘラクレス 出て来いよ、ハシル。おい、ハシル
マコト 無理だよ。壁が壊せない

ヘラクレス 逃げるなよ、ハシル。走れよ

ハシル やめて。私、もう走れない

ヘラクレス 何言ってるんだよ。ハシルが走らなくなったらどうするんだよ。逃げ

るなよ。出て来いよ

ハシルさん、帰ろう

どこに帰るの？

え？

どこに帰ればいいのか？ みんないなくなるのに

何言ってるの？

先生、分かっているでしょ。いつかみんないなくなるって

そうだよ。この世は諸行無常だから

そう、この世は諸行無常なの

マボロシ・ウツキ、登場。

ウツキ 適当なこと言ってるんじゃないよ

マボロシ 適当なこと言ってるのはどっちよ。嘘ばかりついて

ウツキ 俺は嘘吐きだから仕方ないんだよ

マボロシ 何その言い訳。バカじゃないの

ウツキ うるせえブス

マボロシ 嘘吐き

ウツキ デブ

マボロシ 嘘吐き

ウツキ デブス

マボロシ 嘘吐き

ウツキ ああいいよ、どうせ俺は嘘吐きだから、嘘吐きまくってやるよ。お前

は美人だ。世界で一番美人だ。いつまでも一緒にいよう。いつまでも

いつまでも一緒にいよう。みんなもそうさ。誰もいなくなるならいい。こ

の世は諸行無常なんかじゃない。兎だつて戻つて来る。みんな戻つて来る

アヤ・ミンミン・アイコ・ショウウコ・タダノが白兎・黒兎を連れて来る。兎は杵を持っている。

見て見て

兎だよ

え？

はあどっこい

はあどっこい

兎だ

何でだよ。いなくなったはずなのに

全然追いかけれないもんだから

こっちから出て来ちゃいました

追いかけられると逃げたくなくなっちゃったりするんだけど

追いかけれないと寂しくなっちゃったりしちゃうたりなんかして

乙女心は複雑なのです

そうなのです

それ何？

杵

お餅をつくの？

違つよ。丑の刻参りをするの

何それ？

草木も眠る丑三つ時にお参りをするの

呪いの藁人形に五寸釘をガンガン打ち付けると願いが叶うんだよ

へえ、そうなんだ

ハシル 何か違う気がする

デンパ・サイエンス、登場。

サイエンス おい、待てよ、デンパ

デンパ ついて来ないで

サイエンス 何怒ってるんだよ

デンパ 怒ってない

レイ どうしたの？

サイエンス デンパが月に帰るって

みんな え？

先生 デンパさん、それどついうこと？

レイ デンパは月から来たんだよ

みんな 月から？

タダノ ってことは、デンパって宇宙人なの？

デンパ うん

みんな えー

サイエンス デンパ

デンパ 何？

サイエンス 俺、ロケット作るよ

デンパ 作れないって言ったじゃん

サイエンス 作るよ

デンパ 作れないんですよ

サイエンス 作れるよ。今は無理でも、いつか、絶対作るから、待っててよ。俺が

作ったロケットで月まで連れて行くから、一緒に月まで行こう

デンパ うん

みんな ひゅー

サイエンス 違う、これはそついうのじゃない

タダノ そついうのだろ

ヘラクレス 結婚式には呼んでくれよ

サイエンス ちよっと待って

先生 サイエンス君

サイエンス はい、先生

先生 男なら責任取らなきゃ

ウソツキ 俺の嘘が本当になっていく

アヤ そついうの、嘘から出たまことつて言つんだよ

マボロシ 私との約束は？

ウソツキ 約束って何？

マボロシ 百年後にまた会おうね

ウソツキ 何で百年後？

マボロシ 待ってるから

ウソツキ 絶対行かない

マボロシ 嘘吐き

先生 それで、この物語はこれからどつなるの？

白兎 その本読んで

アヤ 私？

黒兎 読んで

アヤ 「ハシルは泣いているナキムシを見つけました。」

ナキムシ、登場。

ハシル ちよっと、泣くなよ。どつしたの？

アヤ 「そこへランマとノゾミがやって来ました。」

ランマ・ノゾミ、登場。

ランマ あ、見つけた
ノゾミ ナキムシ、また泣いてるの？
ハシル ランマ、ノゾミ
ノゾミ どうしたの？ 何があつたの？
ナキムシ あれ？ 何で泣いてたんだっけ？ 忘れちゃった
ハシル 何それ
ナキムシ ごめん
ハシル 二人はどうしたの？
ランマ 何言ってるの？ かくれんぼの途中でしょ
ハシル ああ、そうだった
ノゾミ 鬼は先生だよ

先生はいつの間にかいなくなっている。

ハシル かくれんぼしてるとき、絶対に見つからない子がいるよね
ランマ あー、いるいる
ナキムシ それ私かな
ノゾミ ナキムシ？
ナキムシ かくれんぼしてると、いつも見つけてもらえないの
ハシル あー、そうだ。ナキムシいつも見つからない
ランマ そのまま忘れられちゃうんだよね
ナキムシ そう。気がついたら終わってるの
ノゾミ で、いつつも泣いてるの
ナキムシ 何で見つけてくれないの？
ハシル だって見つからないんだもん
ランマ この前、授業始まって隠れて、先生に怒られたでしょ
ナキムシ だって誰も来ないし
ランマ 授業サボっちゃダメでしょ

ノゾミ ランマだってこの前、給食のきゅうりを机の中に隠してて怒られたでしょ
ランマ 私はきゅうり食べられないの
ナキムシ 給食残すなっていつも言ってるのに
ランマ きゅうりは仕方ないの
ハシル ランマは何するか分からないからね
ランマ 何それ？
ハシル ナキムシが牛乳飲んでる時に、背中パンって叩いて、鼻から牛乳吹き出してさ。あれびつくりした
ナキムシ それはもう言わないで
ランマ あれは悪かったと思ってるよ。ごめんね、本当にごめんね
ナキムシ うん、いいよ
ノゾミ すぐ泣くのやめなよ。その時だって牛乳まみれで泣き出してさ
ナキムシ だからそれはもう言わないでよ
ハシル でも本当に泣くのやめなよ。いつまでも子供じゃないんだから
ランマ 大人って泣かないの？
ハシル 泣かないんじゃない？
ノゾミ 泣かないでしょ
ナキムシ え、泣くよ。お母さんは映画見て泣いたりしてるよ
ハシル ナキムシは大人になっても泣いてそう
ナキムシ そんないつも泣くわけじゃないもん
ノゾミ 大人になるってどういうことなの？
ランマ さあ？
ナキムシ そろそろ戻った方がいいかな？
ハシル え？
ナキムシ 先生、捜してるよ、きつと
ハシル ああ、そうだね
ランマ 先生っていつから先生なの？

ハシル 知らない

ランマ 先生っていつまで先生なの？

ハシル どういうこと？

ランマ 私達、卒業したらいなくなるけど、先生はずっといるんだよね

ノゾミ ずっといるわけではないと思うけど

ランマ 先生もいなくなるんだ

ノゾミ いつかね

ナキムシ よし、先生捜しに行こう

ハシル 逆だよ、それ

ナキムシ いいの。行こうよ

ハシル でも

ランマ 行こう

ノゾミ いつまでも隠れてちゃダメだよ

ハシル ノゾミが言うの？

ノゾミ 私が言う。壁、壊すよ

全員で壁を壊す。

全員、退場。

【13】

先生、登場。

先生

こんな夢を見た。私は小学校の先生で、子供達に囲まれて、授業をして、一緒に遊んで、歌って、走って、幸せだった。私はいつの間にか大人になって、年をとって、人生を終わらせていくのだと思う。私が幸せだった頃。それは子供の頃。何も考えずに、走って、転んで、叫んで、まだ何も知らなくて、どこまでも行けるような気がして、地球は丸くて、空は青くて、未来は続いてて、何にでもなれるような気が

してた。年をとって、悩んで、迷って、大人になって、でもやっぱりまだ悩んで、それでも、今、幸せで、これからも幸せなんだと思う

みんな、登場。みんなは走る。

どうして走ってるの？

兎が逃げて、追いかけてるんじゃないかってっけ？

そうだったっけ？

よく分かんない

いつまで続くんだろうね

いつまでも続くよ

どこまで行くの？

どこまでも行くよ

私、本当はもう走れないんだと思ってた。もうダメだと思ってた。でも、やっぱり走りたい。もっと走りたい。スピードを上げて、回転数を上げて、もっと、もっと。だから、みんな一緒に走ろう

うん

僕等は走った

どこまでも走った

春が来て

夏が過ぎても

秋が来て

冬を越えても

巡る季節

出会いと別れ

花鳥風月

春夏秋冬

地球は丸くて

少年少女

少年少女 空は青くて

少年少女 未来は続いてて

少年少女 何にでもなれるような気がしてた

先生 忘れたいこと

ハシル 逃げ出したかったこと

ナキムシ 泣虫だったこと

ランマ 幼かったこと

ウソツキ 嘘をついたこと

タダノ 怒られたこと

ヘラクレス 弱かったこと

先生 忘れたくないこと

アヤ たくさん本を読んだこと

ミンミン たくさん眠ったこと

サイエンス 発見をしたこと

マコト 一生懸命だったこと

アイコ おいしい物を食べたこと

シヨウコ 綺麗な服を着たこと

デンパ 友達がいたこと

レイ 幸せだったこと

マボロシ 恋をしたこと

先生 みんな、見つけた

先生 先生

先生 何？ ノゾミさん

先生 未来に希望はありますか？

先生 あるよ。さあみんな、今日から夏休みが始まります。夏休みには何を

先生 するのかな？

先生 ハシル おじいちゃんの家に行きます

先生 ナキムシ スイカを食べます

ランマ とつもろこしを食べます

アヤ 読書します

ミンミン 寝ます

サイエンス 天体観測をします

マコト 浴衣着て

アイコ おめかしして

シヨウコ 夏祭りに行ったりして

ウソツキ 河童を捕まえて来ます

タダノ 金魚すくいをします

ヘラクレス 筋トレします

先生 丑の刻参りをします

先生 どうして？

先生 やってみたいから

先生 デンパ 先生、カブト山にUFOが落ちたんだった

先生 UFO、それはつまり Unidentified Flying Object 未確認飛行物体

先生 デンパ ね それから、校庭に謎のミステリーサークルが

先生 ナキムシ ミステリーサークルは宇宙人の仕事ではないかと言われています

先生 ランマ 宇宙人？

先生 レイ 本当に？

先生 タダノ 先生、プールに幽霊がいるよ

先生 ウソツキ 幽霊って何なの？

先生 先生 何言ってるんだよ。いるに決まってるだろ

先生 みんなまとめて調査しよう。夏休みの自由研究は、宇宙人と

先生 みんな 幽霊について

先生 いえーい

先生 おわり。

【参考】

「不思議の国のアリス」ルイス・キャロル

「夢十夜」夏目漱石

「竹取物語」